

「低温生物工学会誌」 “Cryobiology and Cryotechnology”

編集要綱および投稿規定

1. 編集要綱

低温生物工学会誌は、生物ならびに生物に関する材料を対象とした低温、凍結、乾燥に関する基礎的および応用的研究、並びに関連科学技術に関する分野の雑誌であり、年2回発行される。低温生物工学会誌は、原著論文、研究報告、総説を掲載するほか、編集委員会が適当と認めた記事を掲載する。

2. 原稿の投稿

査読を受ける投稿原稿には、「原著論文」、「研究報告」、「総説」がある。

- 1) 原著論文は、本学会が対象とする研究分野における独創的新事実を含んだ未発表の論文である。
- 2) 研究報告は、本学会の年会および本会の主催する講演会において発表された一般講演の内容を簡潔にまとめたものである。
- 3) 総説は、本学会の年会および本学会が主催する講演会において発表された特別講演の内容をまとめたものであり、自己の研究および関連分野の総合的解説である。

いずれの投稿原稿においても、著者のうち一人は本学会の会員であることが望ましいが、編集委員会が認めた場合はこの限りではない。いずれの投稿原稿も、本会誌の以下の規定にしたがって提出することとする。原稿は、テンプレートに従って記載し、原則として電子ファイルで提出する。文章は、Word ファイル（またはリッチテキスト形式）で作成し、図は、Excel などで作成したものを Power point ファイルに保存し原稿中に挿入する。表は Excel または Word ファイルで作成し、原稿中に挿入する。本投稿用のテンプレート、チェックシートおよび投稿申込書はホームページ (<http://square.umin.ac.jp/jsc/index.html>) からダウンロードできる。

提出方法は、**投稿申込書**を添えて、上記の書類（Word またはリッチテキストのファイルと確認用 PDF ファイル）をEメールに添付して送信する。

3. 原稿の書式

原著論文は図表を含め刷り上がり10頁以内、研究報告は刷り上り4頁以内をそれぞれ目安とする。いずれも頁数を超えた場合、超過頁分負担を著者に請求する（項目8を参照）。

原稿は和文または英文とする。総説については特に記載方法を指定しないが、原著論文および研究報告については、和文原稿の記載項目および記載順序を原則として以下の通りとする。

- 1) 表題
- 2) 所属機関名
- 3) 著者名
- 4) 英文表題
- 5) 英語著者名（例：Tarou YAMADA）
- 6) 英語での所属機関名とその所在地
- 7) 英文の要旨（ABSTRACT）
- 8) キーワード（日本語と英語でそれぞれ5語以内）
- 9) 緒言（INTRODUCTION）
- 10) 材料および方法（MATERIALS AND METHODS）
- 11) 結果（RESULTS）

- 12) 考察 (DISCUSSION)
- 13) 謝辞 (ACKNOWLEDGMENT)
- 14) 文献 (REFERENCES)

英文の場合もこの形式に準ずるが、記載順序は 4)～14)とする。和文英文ともにテンプレートおよび専用チェックシート参照のこと。

使用する学術用語は文部科学省学術用語集を基準とする。略語、記号および符号は国際的に慣用されているものを用い、原則としてその使用の最初に正確な記述をカッコ内に示すか、または、論文の 1 頁目に、まとめて示す。
例) 本文中

AFP (Antifreeze Protein)

4. 引用文献

本文中では引用順に肩付番号で 1), 1,2), 1-4) のように記入する。欧文雑誌、和文雑誌とも”著者名：論文タイトル、雑誌名、巻数、始めの頁-終りの頁(西暦年号)”の順に記載する。雑誌名の省略は学会誌に適用されている省略名による。単行本は欧文、和文ともに”著者名：タイトル、編集者名、発行者名、発行地名、頁(西暦年号)”とする。

例示) 引用文献の数字は引用順とする

- 1) Kamata T, Uemura M: Solute accumulation in wheat seedlings during cold acclimation: contribution to increased freezing tolerance, *CryoLetters*, **25**, 311-322 (2004)
- 2) Mazur P: Principles of cryobiology, In "Life in the Frozen State", Fuller B, Lane N, Benson EE, eds, CRC Press, London, p3-65 (2004)
- 3) Levitt J: Responses of Plants to Environmental Stresses. Academic Press, New York (1980)
- 4) 森地敏樹：微生物細胞における凍結および乾燥の障害機序、「生細胞の凍結乾燥」、根井外喜男編、日本学術振興会、東京、p45-63 (1965)
- 5) 菅原康剛、橋本公一：植物培養細胞・組織の常温ガラス化、低温生物工学会誌, **49**, 171-174 (2003)

5. 図 表

図表と写真は Table 1, Table 2, Fig. 1, Fig. 2 のように一連の番号を付し、題名および必要に応じて最小限度の説明を、原則として英文で付ける。図と写真は本文中に電子ファイルで挿入する。あるいは、本文と別途に電子ファイル (Powerpoint など) を添付し、本文に続けて頁番号を打つ。この場合、各図表は 1 頁ずつで示し、挿入位置を本文中に指示する。ただし、実費で編集部 (印刷所) に依頼することもできる。カラー印刷を希望する場合執筆者の実費負担とする。他の出版社から図表を引用する場合は、執筆者の責任において、原著者および出版社の了解を得ておく。

6. 査読手順

受付け：原著論文は隨時受付ける。研究報告の原稿提出期限は年会終了後 2 週間以内、総説の原稿提出期限は講演会の終了後 1 ヶ月以内とする。投稿を受けた場合には、著者に通知する。

査読：査読者および査読期間は、原則として以下の通りとする。

原著論文・研究報告・総説の査読期間はいずれも 3 週間程度とする。編集委員会は編集担当委員を選定する。編集担当委員は査読者 2 名を決定し、論文を送付する。査読者は掲載の可否 (受理・再査読・不受理) をコメントとともに編集担当委員に速やかに連絡する。掲載の可否について査読者の意見が分かれた場合、担当委員は新たな 1 名の査読者を決める。

査読者より査読結果を受理した後、編集担当委員は、査読者のコメントを著者に通知して、回答および修正等を

求める。査読結果に対して1ヶ月以内に回答がない場合は、原則として再投稿として扱う。査読が完了した後、編集担当委員は受理・不受理の結果を編集委員長に報告する。編集委員長は、受理の場合は受理決定通知を、不受理の場合は、不受理決定の理由を著者に通知する。

掲載済みの原稿は返却しない。掲載された論文および記事の著作権は本学会に帰属する。

7. 校 正

校正は原則として初校のみとし、その際新たな追加変更は認めない。尚、体裁を整える都合上、編集委員会あるいは印刷所で原稿に手を加える可能性がある。

8. 掲載料、超過頁および別刷り料金について

原稿の掲載料は10,000円とする。原著論文は10頁、研究報告は4頁を超えた分については、それぞれ超過頁あたり4,000円を著者に請求する。

別刷りは最低50部とし、それ以上は50部単位とする。別刷り料金(50部)は、2頁7,000円、4頁9,000円、6頁10,000円、8頁11,000円、10頁12,000円を基本料金とし、以降2頁増えるごとに1,000円が加算される。また、50部増すごと各基本料金に5,000円が加算される。カラーページ料金は1頁あたり20,000円とする。

必要部数は「別刷申込書」に記入する。

9. 原稿の送付と問合せ

原稿の送付および投稿に関するお問合せは下記まで。

〒739-8528 広島県東広島市鏡山144

広島大学 大学院統合生命科学研究所 食品生命科学プログラム

川井清司(編集委員長)

Tel & Fax: 082-424-4366; E-mail: kawai@hiroshima-u.ac.jp

注: 平成6年4月19日 制定 平成27年5月31日 改正

平成8年6月10日 改正 平成28年6月26日 改正

平成17年6月11日 改正 平成29年3月11日 改正

平成21年3月15日 改正

平成22年6月25日 改正

平成25年6月22日 改正

複写される方に

本誌(書)に掲載された著作物を複写したい方は、著作権者から複写権の委託を受けている次の団体から許諾権を受けて下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

一般社団法人 学術著作権協会

Tel: 03-3475-5618; Fax: 03-3475-5619